

## はじめに

私、『ちかもんくん』こと、近松門左衛門ちかまつもんざえもんです。本名は杉森信盛すぎもりのみちもりと申しま  
す。私は、福井に生まれ、三歳のころから、十年あまりを鯖江さばえで過ごして  
おりました。今でも鯖江の山々や日野川の流れ、吉江城下よしえの静かなたたずまい  
をあざやかに記憶しております。青年時代に京都にまいり、ここで文学を勉  
強し、浄瑠璃じょうるりや歌舞伎かぶきの作品を書くようになりました。

皆さんは、私のことを元禄の三大文豪とか東洋のシェークスピアといっ  
てくださいますが、私の文学には少年時代を過ごした鯖江の豊かな自然や人情  
というものが深くかかわっているのです。ですから鯖江は私にとって、たい  
へん思い出深い大切なところですよ。

このたび、ふるさと鯖江の皆さんに『ちかまつうるる読本』『近松を知る』を発売していただきました。この本には、私のおいたちからはじまり、私を支えてくださった人々や時代背景などがわかりやすく記しされており、「近松」についてあまりご存知ない方にもやさしく読んでいただけます。

私が生まれて三四八年。私についての本がまた一冊発売されましたことをうれしく思います。

この本が多くの皆さんに読んでいただけることを願っております。

ちかまつうるる